

講演：「SmartXIDE DOT の基礎と臨床」組織学的検討とその臨床応用

acne scar、rejuvenation、足底疣贅、汗管腫、色素性母斑などへの応用

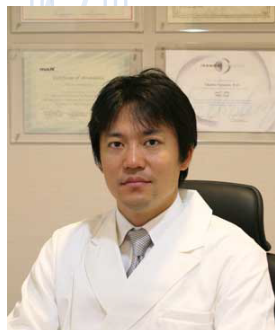


林原 伸治 先生（林原医院）

ご経歴： 平成3年 川崎医科大学医学部 卒業
平成3年 鳥取大学 皮膚科
平成4年 川崎医科大学 形成外科
平成6年 国立病院四国がんセンター
平成9年 姫路赤十字病院
平成11年 林原医院 開業
日本形成外科学会 専門医

CO2 fractional laser 照射後の組織学的変化を経時的に追跡した。今回検証を行った DEKA 社製 SmartXide DOT は、2 段階ピークパルス波形（スマートパルス）を有し、POWER、DWELL TIME（パルス幅）、DOT PITCH（照射点間距離）、STACK MODE（同一点連射モード）の4つのパラメーター設定が可能である。治療目的、肌質に応じてそれらのパラメーターを細かく設定することが可能で、その汎用性を高めている。今回数ヶ月にわたる組織学的検証を元に acne scar、rejuvenation に対する照射時のパラメーターや治療間隔などを検討した。炭酸ガスフラクショナルレーザーにおける合併症として紅斑の遷延、それにとまなう色素沈着が問題となるため、その点を考慮しつつ治療効果を高める照射方法、パラメーターを紹介する。また DOT off モード、surgical mode を使った汗管腫や色素性母斑、脂漏性角化症、足底疣贅の具体的な治療方法を紹介する。

講演：「眼瞼挙上レーザー照射術『マドンナリフト』の治療経験」 「新機種 SMARTXIDE2 の理論と臨床応用」



藤本 幸弘 先生（クリニックF）

ご経歴： クリニックF 院長
医師 医学博士 経営管理学修士 (MBA)
米国レーザー医学会 (ASLMS) 専門医
米国皮膚科学 (AAD) 認定医 / 欧州皮膚科学会 (EADV) 認定医
「Asian Aesthetic Guide」誌 Advisory board
レーザー治療・アンチエイジング医療ブログ「新国際学会周遊記」管理者

2007 年より市場に投入された数多くのフラクショナル CO2 リサーフェシングレーザーは、レーザー集光度、最高出力、照射モード、スポット径、照射間隔および面積に代表されるスキャナの性能にそれぞれ一長一短の特性があり、すべてのスペックが最高水準を示す機器は数少ない。2009 年 5 月にはフロリダ州の Waibel らは、イタリアレーザー機器メーカー DEKA 社の Smart XIDE DOT 施術後の皮膚テクスチャーの改善度が、同種の機種と比較して著しく高いことを発表 (J Drugs Dermatol) している。2010 年 4 月に米国アリゾナ州フェニックスで開催された米国レーザー医学会 (ASLMS) でニューヨーク州の Dr. Bruce Katz が発表した演題は、Smart XIDE DOT で皮膚の収縮の強さを利用した新しい上眼瞼挙上術の発表であり、この施術は通称「マドンナリフト」として米国美容市場で広い認知を得た。

DEKA 社は 2011 年、Smart XIDE DOT の機能に新たに RF を組み合わせることにより施術後のダウンタイムを短縮させた上位機種「SmartXIDE 2」を市場に投入し高い評価を得ている。クリニック F では、新旧の Smart XIDE を実際に使用し、フィレンツェにある DEKA 本社にて機器開発者、さらにイタリアで機器を利用している医師たちとのディスカッションを重ね、アジア人に対する適切なパラメータを比較検討してきた。本フォーラムではその治療経験および、推奨パラメータについて討論を重ねたい。